

# 目次

はしがき .....	i
略語一覧 .....	vii
<b>要約</b> .....	1
<b>序章 2014年の東アジア</b> .....	23
1 安全保障上のリスクの高まりと安定化に向けた外交努力 .....	25
2 米中関係の複雑な様相——協調と緊張 .....	27
3 国内政治の変化と地域安全保障への影響 .....	29
4 新興国における軍の近代化・国防改革の動向 .....	31
5 日本の安全保障政策——積極的平和主義、日米同盟・地域諸国との 戦略的連携の強化 .....	32
<b>第1章 日本 安全保障法制と「日米防衛協力のための指針」の見直し</b> .....	35
1 安全保障法制の見直しに向けて .....	36
(1) 憲法解釈の基本的な考え方 .....	36
(2) 湾岸戦争以降の政策論の展開 .....	38
(3) 新たな憲法解釈と今後の論点 .....	45
2 「日米防衛協力のための指針」の見直し .....	48
(1) 日米同盟における「日米防衛協力のための指針」の役割 .....	48
(2) これまでのガイドライン .....	50
(3) 新たなガイドラインの策定に向けて .....	51
<b>第2章 朝鮮半島 金正恩体制の独裁化と米中間で揺れる韓国外交</b> .....	57
1 核・ミサイルによる威嚇と外交的柔軟性 .....	59
(1) 米韓連合演習への反発と核実験・ミサイル発射 .....	59
(2) 対日外交姿勢の柔軟化 .....	62
2 「党の唯一的領導体系」と強盛国家建設再始動 .....	65
(1) 金正恩独裁体制の構築と軍指導部の新人事 .....	65
(2) 経済強国建設の継続の努力 .....	66
3 米中両国の重視と対北朝鮮抑止力の強化——韓国 .....	70
(1) 米中のはざまに揺れ動く韓国外交 .....	70
(2) 朴槿恵政権の国防政策——「先制的対応措置」も辞さず .....	76
<b>第3章 中国 習近平政権の積極的な内外政策</b> .....	91
1 習近平政権の権力強化と新疆をめぐる問題の深刻化 .....	93
(1) 反腐敗運動と習近平政権の求心上昇 .....	93

	(2) 国内問題の深刻化と「総体国家安全保障観」……………	97
2	習近平政権の外交・安全保障政策……………	100
	(1) 不透明な米中「新型大国関係」の行方……………	101
	(2) 周辺外交の展開と「アジア新安全保障観」……………	104
	(3) 中国の核心的利益に関わる問題……………	107
3	習近平体制下での国防・軍隊改革の推進と軍事力の近代化……………	109
	(1) 国防・軍隊改革の推進……………	109
	(2) 実戦化と対外関係を意識した訓練の実施……………	111
	(3) 装備開発における軍民協力と装備の近代化……………	114
<b>第4章 東南アジア 中越対立の顕在化</b> ……………		125
1	悪化する南シナ海問題……………	127
	(1) ベトナム——中国との衝突激化と関係修復の動き……………	127
	(2) フィリピン——米国との新軍事協定の締結……………	132
	(3) 南シナ海問題をめぐるASEANの動き……………	135
2	地域安全保障上重要な国内問題の展開……………	137
	(1) タイのクーデターと暫定政権の樹立……………	137
	(2) ミンダナオ和平合意……………	139
	(3) インドネシアの大統領交代……………	140
3	東南アジア諸国における海軍装備の近代化……………	143
	(1) ベトナム人民軍海軍の潜水艦能力とロシアの協力……………	143
	(2) フィリピン軍近代化と国防トランスフォーメーション……………	146
	(3) インドネシア海軍における最小必須戦力の整備……………	149
<b>第5章 インド モディ政権の外交・安全保障政策</b> ……………		159
1	総選挙とモディ政権の成立……………	160
	(1) 選挙過程から見るモディ政権の性格……………	160
	(2) 安全保障政策の重点……………	163
2	モディ政権のルック・イースト政策……………	165
	(1) 「近隣諸国優先」政策——「連結性」の戦略的意義……………	166
	(2) 中国との関係——動き出す国境問題……………	170
	(3) 米国との関係——2国間の摩擦、地域安保戦略での一致……………	174
3	国防改革のゆくえ……………	178
	(1) 2000年以降の国防生産改革とその問題点……………	178
	(2) モディ政権の国防生産改革……………	183
<b>第6章 ロシア ウクライナ危機で揺らぐロシアの立ち位置</b> ……………		191
1	ウクライナ危機と対応に追われるロシア……………	193
	(1) ウクライナ危機と継続する南東部地域の不安定……………	193
	(2) ウクライナ危機へのロシアのアプローチ……………	196
	(3) ウクライナ危機のロシア内政への影響……………	198
	(4) ウクライナ危機によってさらに減速するロシア経済……………	200

	(5) 厳しいかじ取りを迫られた経済財政政策	202
2	ユーラシア統合の推進と東アジアとの関係強化を目指すロシア	209
	(1) ユーラシア連合構想の推進	209
	(2) 東アジアとの関係強化の模索	211
	(3) ウクライナ危機と対外エネルギー政策	212
3	軍改革を経て活発化するロシア軍	216
	(1) 軍事演習に見られる即応性と北極・極東地域の重視	216
	(2) ウクライナ危機に際してのロシアの軍事的関与	221
	(3) 装備生産の進展とウクライナ依存問題	223

## 第7章 米国 グローバル・パワーの課題 233

1	アジア太平洋政策の展開	235
	(1) 高まる中国の対外行動への危機感と進展する米中対話の制度化	235
	(2) 地域秩序の安定に向けた同盟関係の強化	238
	(3) 地域諸国および ASEAN との関係強化に向けた取り組み	240
	(4) アジア太平洋におけるプレゼンス強化の動き	242
2	2014QDR と「困難な選択」	244
	(1) 2014QDR と 2012 年国防戦略指針	244
	(2) 2014QDR における「困難な選択」	246
	(3) 議会の反応と今後	255
3	グローバルな関与とアジア太平洋リバランス	257
	(1) ウクライナ危機と「大西洋の決意」作戦	257
	(2) 「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) 危機への対応	261
	(3) グローバルなリーダーシップとアジア太平洋リバランス	268

## 第8章 CBRN 防衛 拡大する脅威への挑戦 279

1	CBRN を取り巻く今日の状況	281
	(1) CBRN——その概念の形成	281
	(2) 主要国・地域における CBRN 防衛の位置付け	285
2	CBRN の構成要素をめぐる論点	289
	(1) 化学 (C) 脅威をめぐる論点	289
	(2) 生物 (B、バイオ) 脅威をめぐる論点	291
	(3) 核 (N) および放射性物質 (R) の脅威をめぐる論点	293
3	日本の CBRN 防衛の取り組みと今後の展望	296
	(1) CBRN 防衛に関連する国内基盤整備の状況	296
	(2) 2 国間・多国間での CBRN 防衛をめぐる協力と連携	300

### 解説

韓国陸軍で導入・開発中の新装備	87
緊張に向かう可能性もある中台関係	116
香港—オキュパイ・セントラル	117

マレーシアと南沙諸島問題 .....	134
ミャンマーの現状 .....	142
日・ASEAN 防衛担当大臣ラウンドテーブル .....	152
日印特別戦略的グローバル・パートナーシップ .....	185
中印国境問題 .....	186
シリアにおける化学兵器と廃棄後の課題 .....	287